



公益社団法人 国土緑化推進機構

National Land Afforestation Promotion Organization

公益社団法人 国土緑化推進機構

活動報告レポート

寄付金額 51,490円

1. KURADASHI.jp 会員様へ

昭和23年、参議院で「国土保全に関する決議」が、昭和24年には衆議院本会議で「挙国造林に関する決議」が行われ、これらの議決に促され昭和25年（1950年）1月30日、国民運動としての国土緑化運動が始まりました。当時は、戦中の軍需用材、戦後の復興資材の要請により森林が伐採され、約150万ヘクタールの未植栽地（禿げ山）があり、災害が多発したことから早急な復興が望まれていました。このことは当時の緑化スローガン「荒れた国土に緑の晴れ着を」からも伺い知ることができます。

また、その後続く高度経済成長下、山村では過疎化、高齢化等が進み健全な森林造成に課題を投げかけました。現在、地球温暖化に起因すると思われる異常気象と自然災害の多発化、水、空気、食料、気候変動、生物多様性、エネルギー問題などの対応が懸念される状況になっています。

森林はこれらの問題に対処するかけがえのない資源であり、健全な森林を育成し、守り、次世代につなげる責任があると思います。

会員の皆様におかれましては、これまでの多大なご協力に感謝申し上げますとともに、「緑の募金」がすすめる「森林の整備」、「緑化の推進」にご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

2. 緑の募金による東日本大震災復興事業

東日本大震災からもうすぐ6年経過しようとしています。「緑の募金」では、震災直後からこれまでの間「緑の募金東日本大震災復興事業」として被災地支援を続けてきました。この間多くの皆様のご協力をいただいておりますが、会員皆様からご協力いただいた寄付金もこの事業に役立てられています。



具体的には、居住地周辺の緑化や海岸防災林再生の事業を支援しています。しかしながら、東日本大震災による津波は未曾有の災害であり、被災地域も広範囲であることから森林の再生には長い時間を要します。被災地からも引き続き支援が求められていることから「緑の募金」では今後も被災地復興のための東日本大震災復興事業使途限定募金を実施することとしています。皆様にはこうした状況をご理解いただきご支援・ご協力をお願いします。